
グレート・グランド・ヴァンパイア

雁木鹿

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

グレート・グラント・ヴァンパイア

【Nコード】

N2387BA

【作者名】

雁木鹿

【あらすじ】

紀内咲夜の曾祖父であるウィルは、欧州から日本に移住してきたヴァンパイア。実年齢は数百歳だが、見た目はシルバーブロンドに緑の目を持つ美青年である。中学生のときに両親を亡くして以来、咲夜はウィルと一緒に暮らしており、家事の苦手な彼に変わって主婦業をこなしている。明るく朗らかなウィルに惹かれながらも、家族として一緒にいるために恋心を隠す咲夜。そうして平穏な日々を過ごす咲夜とウィルだったが…

序幕

序幕

私には、珍しい曾祖父がいる。

超高齢化社会である現代で、曾祖父、つまりはひいじいさんがいることなど珍しくはないと言う人もいるだろう。

だから、曾祖父がいることが珍しいのではない。

曾祖父自身が、珍しいのだ。

頭部をたっぷりと覆うのは、輝く絹糸のようなシルバーブロンド。

透明感のある白くて滑らかな肌には、皺やシミの一つも見られない。宝石のような緑の眼には、子供のように生き生きとした光が宿る。

西洋人特有の端正な顔立ちと、背の高いすらりとした身体。

百人に問えば百人全員が間違いなく頷くような、紛れもない美青年。二百歳を越えた辺りから数えるのが面倒になってきた彼は、御年数百歳を優に超えているそうだ。

そう、つまり、私の曾祖父は

普通の人間ではないから、珍しい。

彼の名を、ウィルフレッド・オーズリー・紀内。

私、紀内咲夜の曾祖父は、欧州から移住してきた生粋の吸血鬼である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2387ba/>

グレート・ランド・ヴァンパイア

2012年1月6日00時47分発行